

2024 年度 DRP 検討委員会

第 2 回会合議事録

日時： 2024 年 8 月 27 日（火） 10:00～11:50

場所： オンライン

1. 議題：

1. 2024 年度第 1 回会合議事録（案）の確認
2. 2024 年度第 2 回 JP-DRP パネリスト候補者研修会について
3. パネリスト候補者を含む手続関係者向けの情報提供（ガイド）と裁定文レビューについて
4. その他

2. 資料一覧：

資料 1 2024 年度 DRP 検討委員会第 1 回会合議事録（案）

参考資料 1 個人情報等の省略・仮名処理に関する関連報告書、裁定例、Q&A

参考資料 2 JP-DRP 裁定検索システム タグ付け案
 (JP2024-0003～JP2024-0008)

3. 出席者(50 音順)(敬称略)

	氏名	所属
DRP 検討委員会 委員長	井上 葵	アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法 共同事業 弁護士
DRP 検討委員会 委員	卜部 晃史	弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所 弁護士
DRP 検討委員会 委員	早川 吉尚	立教大学 教授/弁護士
DRP 検討委員会 委員	山口 裕司	大野総合法律事務所 弁護士 日本知的財産仲裁センター運営委員長
担当理事	曾根 秀昭	JPNIC 副理事長 DRP 担当
	中村 素典	JPNIC 理事 DRP 担当

JPNIC 事務局：高山 由香利、根津 智子

4. 傍聴

株式会社日本レジストリサービス（JPRS） 1 名

5. 議事

10時00分に井上委員長により開会された。議事に先立ち、第75回 JPNIC 通常総会にて任期満了に伴う JPNIC 役員の改選が行われ、中村素典理事が新たに DRP 分野担当として加わったため、挨拶を行った。

議題 1. 2024 年度第 1 回会合議事録（案）の確認

委員からは特段の意見はなく、原案のまま確定した。

議題 2. 2024 年度第 2 回 JP-DRP パネリスト候補者研修会について

2024 年度第 2 回 JP-DRP パネリスト候補者研修会の開催時期と内容は、この後に議論する議題 3 の内容に密接に関係するため、次の議題 3 の議論内容に沿って、全体スケジュールに組み込むこととなった。

議題 3. パネリスト候補者を含む手続き関係者向けの情報提供（ガイド）と裁定文レビュー

2023 年度の活動において JP-DRP 裁定検索システムを作りその過程で裁定文をあらためて読んだ際、裁定文の形式や内容など、特にパネリスト候補者や事件管理者といった方々に参考としていただけるような点を再確認した。また、JP-DRP の新たな担い手となり得る方々を招いて、本委員会の活動を発展的に拡大する必要性も見えてきた。

上記 2 点を踏まえ、JP-DRP の手引きになるようなガイド（WIPO の Overview のような内容が好ましい）を、新規メンバーを加えた活動チーム（専門家チーム）を結成した上で作ることとなった。その活動に向けて、次の点が共有された。

- JP-DRP に関する参考文献は乏しく、裁判手続きにおいても「JP-DRP 解説」が引用されたケースがあるが、同文書は発行からすでに 16 年以上経っているため、「JP-DRP 解説」の改定を行うのがいいのではないかという提案があり、一同賛成した。「JP-DRP 解説」が作られた当時は、不競法については管轄外なので触れなかったが、16 年経た現在にさらに閲覧者にとって有益な文書とするには、関連する法律に関する記述も充実すべきかもしれない。

- 進め方としては、
2023年度の専門家チームメンバーとして活動いただいた佐藤恵太先生と山内貴博先生、および新規に4名の法曹にお声がけをして、専門家チームを組成し、次の(1)と(2)の活動を並行して進める。

(1) 「JP-DRP 解説」の改定

内容：「JP-DRP 裁定例検討最終報告書（2006）」「JP-DRP 裁定例検討報告書 2019」および、2019年以降の裁定文のレビュー内容を盛り込む

メンバー：DRP 検討委員会の委員4名と佐藤恵太先生・山内貴博先生を中心とするが、新規メンバーにもオブザーバー的に入っていただく

(2) 2019年以降の裁定文のレビュー

内容：「JP-DRP 裁定例検討報告書 2019」以降の裁定文のレビューを行う。

メンバー：DRP 検討委員会の委員4名と、専門家チームの新規メンバー

- 今後のスケジュール案が確認されると共に、山口委員は新規メンバーへの打診を行い、JPNIC事務局は専門家チーム設立に向けた準備を進めることとなった。

議題4. その他

- 裁定文の一部非公開（名称の非表示）要請への対応について

裁定文の一部非公開（名称の非表示）要請への対応にあたり参考とするために、他組織における対応状況の調査とそれに基づく検討を行ったことが、山口委員より共有された。当委員会としては、裁定文の一部非公開要請が寄せられた場合には、当委員会への照会を経て、基本的には対応すべきであるように思われること、また世界的な潮流としては個人情報保護対応の厳格さが強まる傾向にあるため、継続的に情報収集していくことが確認された。

- JP-DRP 裁定検索システムのアップデートについて

JP-DRP 裁定検索システムのデータをアップデートするにあたり、6件の事件（JP2024-0003～JP2024-0008）のデータについて、分類を行った山口委員より説明を受けて確認を行った。特段のコメントはなかったため、同データを JP-DRP 裁定検索システムに反映することとした。

- 次回検討委員会会議は、2024年10月28日（月）13:00～15:00に開催することとする。

以上をもって、井上委員長により会議は11時50分に閉会された。

以上